

伊藤園



平成16年4月期 平成15年5月1日～平成15年10月31日

中間事業報告書

自然

健康

自然が好きです

Our Vision and Value

安全

良いデザイン

目次

株主の皆様へ	1
営業の概況	2
連結決算の概要	3
連結財務ハイライト	4
新製品の紹介	5
トピックス	6
連結財務諸表	10
単独財務諸表	13
会社の概要	14
株式の状況	15
役員 / 株主メモ	16

おいしい

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素より格別のご愛顧とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、伊藤園グループの平成16年4月期中間期(平成15年5月1日から平成15年10月31日まで)の営業の概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期におけるわが国の経済は、景気の不透明感が後退し、企業収益の改善による設備投資の増加、株式相場の回復等、景気の持ち直しが見込まれるものの、雇用不安による個人消費の低迷に加え、長梅雨と冷夏による天候不順により消費者の購買心理は冷え込み、本格的な景気の回復には至りませんでした。

このような状況のなかで、伊藤園グループ各社は「お客様第一主義」の経営理念に基づき、「お客様が今でも何を不満に思っているか」を考え、積極的な製品開発と営業力の強化を図り、環境問題にも十分配慮しつつ、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

具体的な経営施策といたしましては、株式会社伊藤園において、平成15年6月に銀行借入金を全額返済し財務体質の強化を図りました。さらに、平成15年10月には、株式の分布状況の改善と流動性の向上を目的として株式の売出しを決議いたしました。

また、当期の中間配当金につきましては、1株につき21円50銭とさせていただきます。

今後も「お客様第一主義」に徹し、消費者の皆様にご満足いただける製品の開発とサービスの向上に努め、「お~いお茶」をはじめとする個別ブランドの強化をさらに推し進めるとともに、財務体質の強化を図り、更なる業績の向上に邁進し、株主の皆様への利益還元に積極的に取り組んでまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年1月

営業の概況

茶葉(リーフ)関連事業

飲料(ドリンク)用原料としての需要は、緑茶飲料市場の成長とともに年々増加しておりますが、茶葉(リーフ)の需要は、お客様の嗜好が飲料(ドリンク)製品に移行していることから、市場全体では前年並となる見込みであります。しかし、茶葉(リーフ)製品のなかでもティーバッグ等日本茶簡便商品は2ケタ伸長を続け、お客様のニーズの多様化が進んでいることが伺えます。



このような状況のなかで、当社は原料選定から製造・物流にいたるまで徹底的に品質管理を行い、お客様のニーズに沿った製品づくりを行いました。冷たい水で茶葉(リーフ)を楽しみたいというお客様のご要望に応え、従来の水出し緑茶ティーバッグ「ワンポット緑茶」に加え、夏期限定で「水出し夏冷茶」を発売いたしました。また、インスタント緑茶では、光による品質低下を解消した原料を開発し、開封後の密封性に優れたガラス瓶を使用した「お~いお茶 さらさら緑茶瓶入り40g」を発売いたしました。

しかしながら、消費者の需要は茶葉(リーフ)製品から飲料(ドリンク)製品へ移行が進んでおり、茶葉(リーフ)関連事業の売上高は132億7千5百万円(前年同期比2.9%増)と微増にとどまりました。

飲料(ドリンク)関連事業

平成15年度の上半期の飲料市場は、長梅雨と日照不足による冷夏の影響で、最需要期である7月、8月の売上は各社厳しいものとなったものの、9月の売上は一転して大幅増となるなど、業績が天候に大きく左右されました。市場全体では、7月、8月の大幅な落ち込みが影響し、販売数量ベースで前年対比微減となった模様であります。

このような状況のなかで、当社は、「自然・健康・安全・良いデザイン・おいしい」を製品開発の基本理念に、積極的に新製品の開発に取り組みました。「原料茶」と「抽出技術」にこだわった、緑茶飲料ナンバーワンブランド「お~いお茶」につきましては、従来の季節限定品の他、地域向け緑茶「お~いお茶 静岡茶」「お~いお茶 宇治茶」「お~いお茶 八女茶」「お~いお茶 玄米入り緑茶」「お~いお茶 強火仕立て緑茶」の5品目を投入する等、ブランドの強化に一層努めました。

この結果、「お~いお茶」ブランド全体の売上高は543億9千3百万円(前年同期比15.6%増)、販売数量は3,150万ケース(前年同期比16.5%増)と大きく伸長し、日本茶飲料の売上高につきましても647億8千9百万円(前年同期比18.2%増)と大幅な増収となりました。



その他の飲料につきましては、カフェのおいしさにこだわったコーヒー飲料「サロンドカフェブレンド」「サロンドカフェカフェオレ」「サロンドカフェデミタス」を発売し、テレビCM、サンプリング等の販促活動を大々的に行いました。また、健康志向の高まりとともに注目されている「特定保健用食品」(厚生労働省より、健康に役立つ効果があると表示許可された食品)の品揃えとして、新たに「充実野菜 ベジタブル&ファイバー」「緑茶習慣600ml、2L」を発売し、機能性飲料の充実を図りました。

この結果、飲料(ドリンク)関連事業の売上高は1千121億3千万円(前年同期比10.8%増)となりました。

その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は12億9千4百万円(前年同期比30.5%増)となりました。

連結決算の概要

< 連結業績の推移 >

		(単位:百万円)				
		平成12年4月期	平成13年4月期	平成14年4月期	平成15年4月期	平成16年4月期
売上高	中間期	93,407	102,810	108,808	115,113	126,701
	通期	173,966	192,709	204,730	214,808	—
営業利益	中間期	7,668	8,335	8,502	8,664	9,337
	通期	14,266	15,666	15,148	15,694	—
経常利益	中間期	7,437	8,118	8,224	8,367	8,929
	通期	13,790	15,068	14,417	14,879	—
中間 当期 純利益	中間期	4,140	4,447	3,867	4,440	4,790
	通期	6,530	8,017	6,753	8,003	—
1株当たり中間 当期 純利益	中間期	90円80銭	97円53銭	84円81銭	97円59銭	105円91銭
	通期	143円18銭	175円79銭	148円08銭	176円43銭	—
総資産	中間期	103,779	89,479	88,973	95,692	99,291
	通期	82,386	91,645	92,773	97,726	—
株主資本	中間期	42,205	44,428	50,307	54,143	60,598
	通期	40,783	47,310	52,508	56,679	—

(注)1株当たり中間<当期>純利益は、期中平均発行済株式総数に基づき算出しました。

< 参考:株式会社伊藤園単独の1株当たり配当金 >

1株当たり配当金	中間期	17円50銭	17円50銭	20円	20円	21円50銭
	通期	35円	40円	40円	43円	—

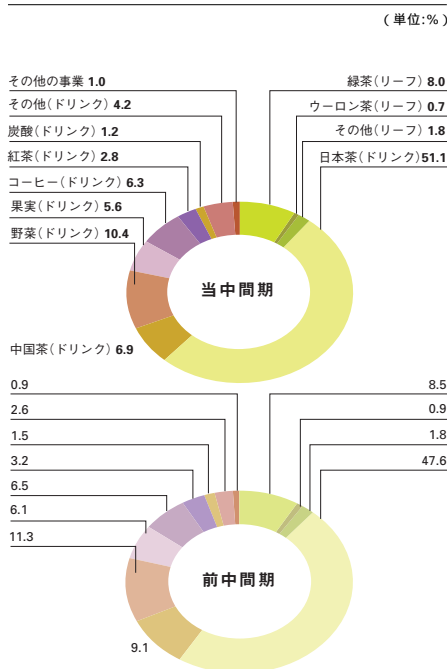
< 連結売上高の内訳 >

	(単位:百万円)		
	前中間期 平成14年5月1日～ 平成14年10月31日	当中間期 平成15年5月1日～ 平成15年10月31日	前期 平成14年5月1日～ 平成15年4月30日
茶葉(リーフ)関連事業			
緑茶	9,739	10,081	22,667
ウーロン茶	1,066	893	1,906
その他	2,091	2,300	3,526
茶葉(リーフ)関連事業計	12,896	13,275	28,100
飲料(ドリンク)関連事業			
日本茶	54,808	64,789	99,158
中国茶	10,517	8,742	17,532
野菜	12,973	13,188	22,965
果実	7,032	7,157	11,989
コーヒー	7,438	7,947	15,481
紅茶	3,745	3,492	7,302
炭酸	1,690	1,481	2,261
その他	3,017	5,331	7,792
飲料(ドリンク)関連事業計	101,224	112,130	184,484
その他の事業	992	1,294	2,223
合計	115,113	126,701	214,808

< 茶葉・飲料売上構成比 >

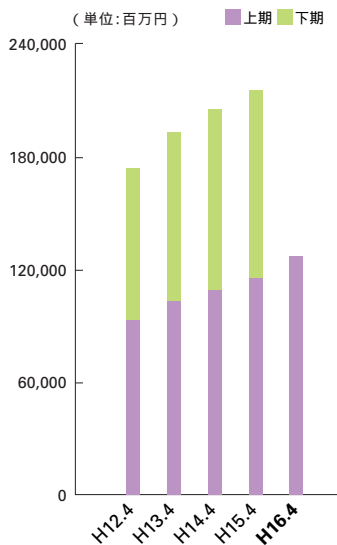
	(単位:%)		
茶葉(リーフ)関連事業	11.2	10.5	13.1
飲料(ドリンク)関連事業	87.9	88.5	85.9
その他の事業	0.9	1.0	1.0

< 連結部門別売上高構成比 >

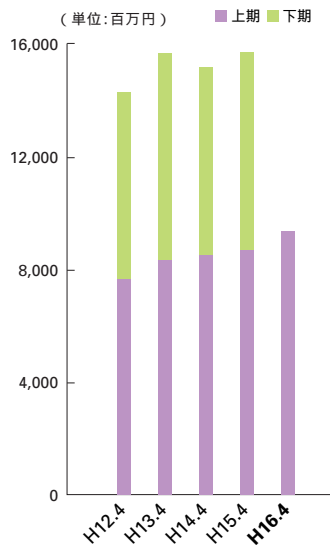


連結財務ハイライト

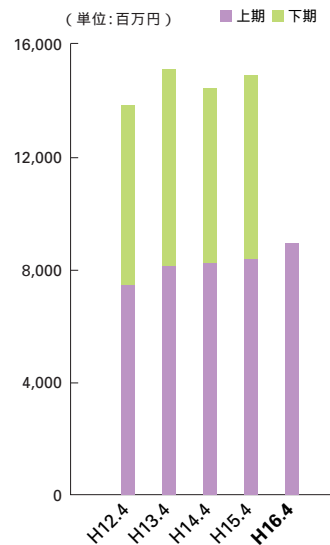
売上高



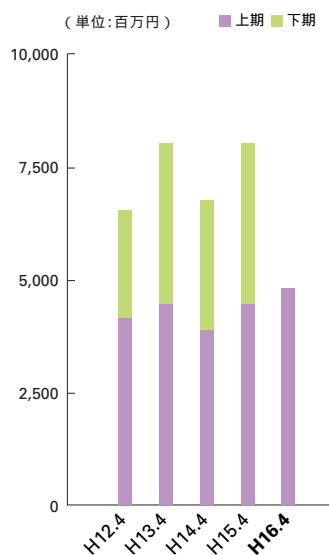
営業利益



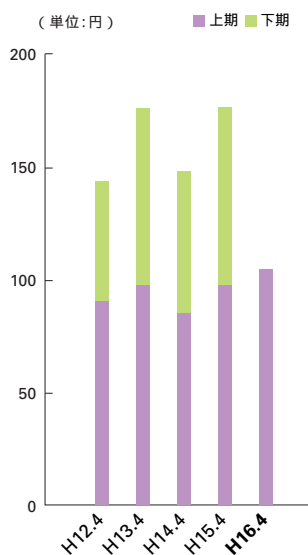
経常利益



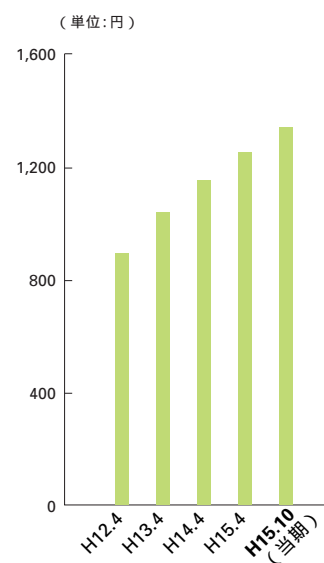
中間(当期)純利益



一株当たり中間(当期)純利益



一株当たり株主資本



新製品の紹介



お～いお茶 冬緑茶
500mlペットボトル
平成15年11月24日発売



純そば茶、天然系ジャスミン茶、
温飲烏龍茶
345ml、275ml、275mlペットボトル(ホット)
平成15年9月22日発売



おいしくダイエットサポート
350ml(コールド用)、345ml(ホット用)
ペットボトル
平成15年11月3日発売



充実野菜 冬野菜
温まる野菜ミックス
930gペットボトル
平成15年11月24日発売



ビタミンフルーツ 巨峰グレープ
ミックス100%(栄養機能食品)
TOP SEASON 巨峰グレープミックス
280g、930g、500mlペットボトル
平成15年10月13日以降順次発売



お～いお茶 さらさら緑茶 瓶入り40g
平成15年9月16日発売

緑茶飲料のブランド戦略

拡大し続ける緑茶飲料市場で、「お～いお茶」は今期2桁増の5,700万ケース以上の販売が見込まれ、毎年数多く清涼飲料製品が発売されるなか、日本を代表するブランドとして着実に成長しています。

急須で入れるお茶をそのまま表現した「お～いお茶 緑茶」に加え、ホットペットを発売、また季節ごとの緑茶の味を楽しんでいただくために、季節限定シリーズの「お～いお茶」(春茶、新茶、氷冷茶、蔵出し秋茶、冬緑茶)の発売を開始しました。さらに、平成15年からは新たに地域向けシリーズもラインアップに変わりました。全国各地において日常飲まれる緑茶の好み異なる背景から、特定の産地の原料茶を使用し、地域的な嗜好に合った味づくり、パッケージは、その地域の象徴を色鮮やかにデザインしています。





東日本地域
深蒸し緑茶

西日本地域
玉緑茶

それに加え、製法の違う2つの煎茶を東日本と西日本で期間限定で平成15年9月15日からそれぞれ発売しました。

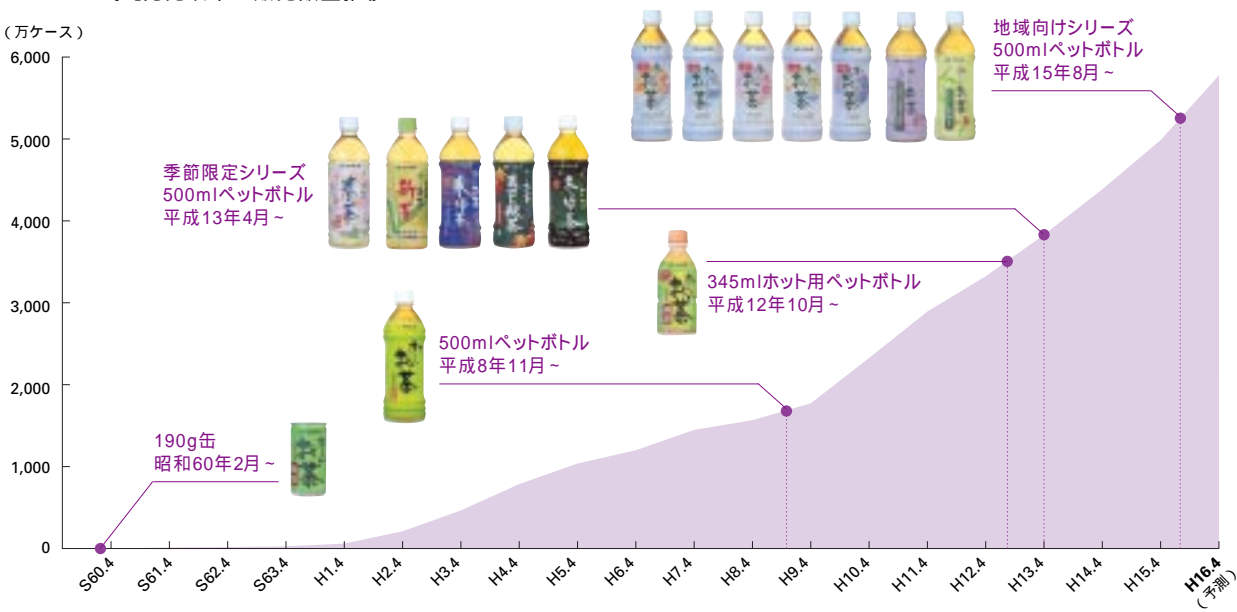
また、最近ではカテキンの薬理効果が広く知られるようになり、当社ではカテキンを一般的な緑茶飲料の約1.5倍含有し、緑茶の主要成分をバランスよく配合した緑茶飲料「おいしくダイエットサポート」(P5参照)を発売しました。しみ・そばかすの原因、動脈硬化、高血

圧の原因となる余分な活性酸素の消去、抗菌作用などの効能があるカテキンに加え、他の成分も当社独自の比率で組み合わせて仕上げました。

激化する緑茶飲料市場において、常に緑茶飲料のパイオニアとして、またマーケットリーダーとして創造的な取り組みを行い、今後もさまざまなお客様に喜ばれる製品を提供してまいります。

「お～いお茶」発売以来の販売数量推移

(万ケース)



当社初のコーヒーブランド強化に着手 「Salon de Café」

現在、清涼飲料市場においてコーヒー飲料市場規模は約9,370億円(平成14年)と市場の27%以上を占める最大のマーケットとなっています。そのなかで各社とも、さまざまな新製品の発売や大量の広告宣伝など、熾烈な販売を繰り広げております。

当社においても平成15年8月26日より新ブランド「Salon de Café」(サロンカフェ)を全国発売しました。原料や抽出方法、さらには焙煎後1週間以内に充填をするなど、当社ならではのこだわりにより、高品質を実現しました。コーヒーのメインユーザーの男性に加えて、女性にも飲用していただけるように、カフェの感覚を取り入れた製品に仕上げ、従来にないコーヒー“缶カフェ”としてブランドを育成してまいります。さらに当社では初めてのコーヒーCMを流すなど、本格的なブランド展開を図っています。

「Salon de Café」の概要

コンセプト 本物のカフェを楽しむコーヒー = “缶カフェ”

特徴 アールヌーボー()を代表する画家であるミュシャのデザインを缶に取り入れ、「高付加価値」を表現

原料にこだわり、「香り」と「コク」を引き出す独自の「ダブル抽出方法」(特許出願中)による「高品質」の実現

販促活動 女優観月ありささんを起用し、平成15年9月よりCMをオンエア

()19世紀末から20世紀初頭にかけてフランスを中心にひろがった美術様式

「Salon de Café」のラインアップ



ブレンド カフェオレ デミタス ブラック



CMに出演している女優:観月ありささん

日本食糧新聞社主催、
農林水産省・環境省後援の
「第12回 日食・環境資源協力賞」
を受賞



当社は約20年前から低化学肥料・減農薬の茶葉製品を販売するなど、環境保全を考えた良質な茶葉原料の調達に取り組んでまい

ました。平成13年1月に宮崎県都城農協と協定を締結した茶産地育成事業では、生産の効率化やコスト削減の取り組みはもとより、肥料・農薬の投与基準を設定し記録管理するなど経済性と環境保全を両立した農業経営の確立を目指しています。

また、茶系飲料製品の製造時に排出する茶殻についても、豊材や建材ボードなどにリサイクルする技術(特許出願中)を開発し、カテキンなど茶特有の成分を活用したリサイクル製品として市場に提供しています。このような原料調達から製造、廃棄まで一貫して地球環境と向き合う事業活動が評価され、この度の「第12回 日食・環境資源協力賞」の受賞に至りました。

宮里フィーバーで沸いた
第十九回

伊藤園レディス
ゴルフトーナメント

(平成15年11月14日～16日
於:グレートアイランド倶楽部)



宮里藍プロ

今回のトーナメントでは、若干18歳のアマチュアとしてミヤギテレビ杯ダンロップ女子オープンゴルフトーナメントを制した宮里藍プロのプロデビュー戦となり、そのプレーぶりが注目されました。初日から大勢のギャラリーが詰め掛け、3日間で11,429人にのぼり、また報道も加熱し、119

社のプレスが集まりましたが、結果は残念ながらあと一歩のところまで予選敗退となりました。

決勝日は強風が吹き荒れるなか、すでに平成15年度の賞金女王の座を手中に収めている不動裕理プロと今期惜敗が続く表純子プロのプレーオフとなりましたが、ディフェンディングチャンピオンの不動プロが、日没間近のプレーオフ3ホール目で見事にバーディーを決めて熱戦に終止符をうち、自身当トーナメント3度目の優勝をかざりました。



優勝した不動裕理プロ

連結財務諸表

中間連結貸借対照表

	単位:百万円		
	前中間期	当中間期	前期
	平成14年10月31日	平成15年10月31日	平成15年4月30日
(資産の部)			
流動資産	63,524	67,346	65,832
現金及び預金	18,671	19,278	24,021
受取手形及び売掛金	19,996	20,921	18,957
たな卸資産	16,447	17,167	15,531
未収入金	5,977	7,274	5,350
繰延税金資産	1,398	1,728	1,296
その他	1,107	1,044	747
貸倒引当金	73	68	71
固定資産	32,168	31,945	31,893
<有形固定資産>	20,461	19,778	20,067
建物及び構築物	10,796	10,221	10,509
土地	8,110	8,123	8,123
その他	1,554	1,434	1,434
<無形固定資産>	713	690	766
<投資その他の資産>	10,992	11,475	11,058
投資有価証券	1,482	2,737	1,900
繰延税金資産	1,326	686	1,133
再評価に係る繰延税金資産	2,179	2,121	2,111
その他	6,238	6,062	6,088
貸倒引当金	234	132	175
資産合計	95,692	99,291	97,726

流動資産

現金及び預金が前期末と比べて47億4千2百万円減少いたしましたが、売上高の増加に伴い、前期末と比べて売上債権が19億6千3百万円、たな卸資産が16億3千6百万円、未収入金(原材料有償支給代等)が19億2千3百万円それぞれ増加いたしました。これらの理由により、流動資産は前期末と比べて15億1千3百万円増加いたしました。

投資その他の資産

株式相場の回復等により、投資有価証券が前期末と比べて8億3千7百万円増加いたしました。繰延税金資産が4億4千6百万円減少いたしました。これらの理由により、投資その他の資産は、前期末と比べて4億1千7百万円増加いたしました。

	単位:百万円		
	前中間期	当中間期	前期
	平成14年10月31日	平成15年10月31日	平成15年4月30日
(負債の部)			
流動負債	38,329	36,108	38,043
買掛金	16,515	19,729	16,986
短期借入金	6,703	-	6,653
未払費用	6,347	7,744	6,278
未払法人税等	4,823	4,569	4,634
賞与引当金	2,611	2,753	2,071
その他	1,328	1,311	1,418
固定負債	3,219	2,584	3,002
退職給付引当金	2,091	1,871	1,872
その他	1,128	712	1,130
負債合計	41,549	38,693	41,046
(少数株主持分)			
少数株主持分	-	-	-
(資本の部)			
資本金	12,655	12,655	12,655
資本剰余金	13,002	13,002	13,002
利益剰余金	33,471	39,879	36,130
土地再評価差額金	3,034	3,092	3,102
其他有価証券評価差額金	47	462	72
為替換算調整勘定	392	701	471
自己株式	1,605	1,607	1,606
資本合計	54,143	60,598	56,679
負債、少数株主持分及び資本合計	95,692	99,291	97,726

流動負債

財務体質強化のため銀行借入金66億5千3百万円を全額返済いたしました。前期末と比べて仕入に係る買掛金が27億4千2百万円、経費に係る未払費用が14億6千5百万円それぞれ増加いたしました。これらの理由により、流動負債は前期末と比べて19億3千4百万円減少いたしました。

株主資本比率

当中間期の株主資本比率は61.0%となりました。これは、銀行借入金を全額返済したこと、および利益剰余金が前期末に比べて37億4千9百万円増加したことなどの理由によるものです。

中間連結損益計算書

	単位:百万円		
	前中間期	当中間期	前期
	平成14年5月1日から 平成14年10月31日まで	平成15年5月1日から 平成15年10月31日まで	平成14年5月1日から 平成15年4月30日まで
売上高	115,113	126,701	214,808
売上原価	57,871	63,392	107,868
売上総利益	57,242	63,308	106,940
販売費及び一般管理費	48,577	53,971	91,245
営業利益	8,664	9,337	15,694
営業外収益	96	91	161
営業外費用	393	499	976
経常利益	8,367	8,929	14,879
特別利益	351	-	847
特別損失	323	55	587
税金等調整前中間(当期)純利益	8,395	8,873	15,138
法人税、住民税及び事業税	4,574	4,346	7,479
法人税等調整額	619	262	344
少数株主利益	0	-	0
中間(当期)純利益	4,440	4,790	8,003

売上高

「お～いお茶」などの日本茶飲料が前年同期と比べ99億8千1百万円増加(前年同期比18.2%増)したことなどにより、飲料関連事業の売上高は109億6百万円増加(前年同期比10.8%増)し、1千121億3千万円となりました。また、茶葉関連事業の売上高は132億7千5百万円(前年同期比2.9%増)、その他の事業の売上高は12億9千4百万円(前年同期比30.5%増)で、連結売上高の合計では115億8千7百万円増加(前年同期比10.1%増)し、1千267億1百万円となりました。

利益

売上高の増加と原価低減により、売上総利益は前年同期と比べ60億6千6百万円増加(前年同期比10.6%増)し、633億8百万円となりました。また、売上総利益率は前年同期比0.3ポイント増の50.0%となりました。

営業利益は前年同期と比べ6億7千3百万円増加(前年同期比7.8%増)し、93億3千7百万円となりました。

経常利益は前年同期と比べ5億6千2百万円増加(前年同期比6.7%増)し、89億2千9百万円となりました。

中間純利益は前年同期と比べ3億4千9百万円増加(前年同期比7.9%増)し、47億9千万円となりました。

中間連結剰余金計算書

	単位:百万円		
	前中間期	当中間期	前期
	平成14年5月1日から 平成14年10月31日まで	平成15年5月1日から 平成15年10月31日まで	平成14年5月1日から 平成15年4月30日まで
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	13,002	13,002	13,002
資本剰余金増加高	-	-	-
資本剰余金減少高	-	-	-
資本剰余金中間期末(期末)残高	13,002	13,002	13,002
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	29,986	36,130	29,986
利益剰余金増加高	4,440	4,790	8,003
利益剰余金減少高	955	1,040	1,860
利益剰余金中間期末(期末)残高	33,471	39,879	36,130

中間連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	前中間期	当中間期	前期
	平成14年5月1日から 平成14年10月31日まで	平成15年5月1日から 平成15年10月31日まで	平成14年5月1日から 平成15年4月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前中間(当期)純利益	8,395	8,873	15,138
減価償却費	612	592	1,261
賞与引当金の増加・減少額	490	682	48
退職給付引当金の増加・減少額	467	0	247
売上債権の増加額	1,783	1,983	749
たな卸資産の増加・減少額	593	1,668	310
仕入債務の増加・減少額	254	2,755	218
法人税等の支払額	2,879	4,414	5,973
その他	771	1,297	581
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,683	3,539	10,987
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券・投資有価証券の取得による支出	12	179	1,021
有形固定資産・無形固定資産及び 長期前払費用の取得による支出	559	360	965
その他	27	7	466
投資活動によるキャッシュ・フロー	545	547	1,520
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	1,502	6,653	1,552
自己株式の取得による支出	1,603	0	1,605
配当金の支払額	912	1,040	1,816
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,017	7,693	4,973
現金及び現金同等物に係る換算差額	78	39	103
現金及び現金同等物の増加・減少額	958	4,742	4,390
現金及び現金同等物の期首残高	19,630	24,021	19,630
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	18,671	19,278	24,021

営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間期の税金等調整前中間純利益は、前中間期に比べ4億7千8百万円増加いたしました。前年度の利益に係る法人税等の支払が増加したことにより、営業活動から得られた資金は35億3千9百万円(前年同期比1億4千3百万円減)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

営業拠点並びに福利厚生施設の改修等を行ったことにより、投資活動に使用された資金は5億4千7百万円(前年同期比2百万円増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務体質強化のため銀行借入金66億5千3百万円を全額返済したこと、及び配当金の支払を行ったことなどにより、財務活動に使用された資金は76億9千3百万円(前年同期比36億7千5百万円増)となりました。

単独財務諸表

中間単独貸借対照表

単位:百万円

	前中間期	当中間期	前期
	平成14年10月31日	平成15年10月31日	平成15年4月30日
(資産の部)			
流動資産	61,425	65,387	63,566
固定資産	34,849	35,654	35,272
＜有形固定資産＞	18,168	17,676	17,848
＜無形固定資産＞	537	541	600
＜投資その他の資産＞	16,143	17,437	16,823
資産合計	96,274	101,042	98,839
(負債の部)			
流動負債	37,979	35,802	37,686
固定負債	3,116	2,495	2,907
負債合計	41,096	38,297	40,593
(資本の部)			
資本金	12,655	12,655	12,655
資本剰余金	13,002	13,002	13,002
利益剰余金	34,115	41,326	37,226
土地再評価差額金	3,034	3,092	3,102
その他有価証券評価差額金	45	460	71
自己株式	1,605	1,607	1,606
資本合計	55,178	62,744	58,245
負債及び資本合計	96,274	101,042	98,839

中間単独損益計算書

単位:百万円

	前中間期	当中間期	前期
	平成14年5月1日から 平成14年10月31日まで	平成15年5月1日から 平成15年10月31日まで	平成14年5月1日から 平成15年4月30日まで
売上高	113,455	124,842	211,495
売上原価	57,493	62,836	107,062
売上総利益	55,961	62,005	104,432
販売費及び一般管理費	47,275	52,579	88,393
営業利益	8,685	9,425	16,038
営業外収益	147	163	212
営業外費用	374	478	945
経常利益	8,459	9,111	15,306
特別利益	348	-	826
特別損失	320	53	585
税引前中間(当期)純利益	8,486	9,057	15,547
法人税、住民税及び事業税	4,399	4,173	7,184
法人税等調整額	620	256	360
中間(当期)純利益	4,708	5,140	8,723
前期繰越利益	1,780	1,753	1,780
中間配当額	-	-	904
中間(当期)未処分利益	6,488	6,893	9,599

中間単独キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	前中間期	当中間期	前期
	平成14年5月1日から 平成14年10月31日まで	平成15年5月1日から 平成15年10月31日まで	平成14年5月1日から 平成15年4月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,912	4,062	11,335
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,364	896	2,735
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,017	7,693	4,973
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	1	5
現金及び現金同等物の増加・減少額	1,474	4,529	3,620
現金及び現金同等物の期首残高	18,505	22,125	18,505
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	17,030	17,596	22,125

会社の概要

(平成15年10月31日現在)

会社名

株式会社 伊藤園

英文社名

ITO EN, LTD.

URL

http://www.itoen.co.jp

本社

東京都渋谷区本町3丁目47番10号

設立

昭和41年8月22日

資本金

12,655,340,000円

従業員数

3,968名

支店、営業所および出張所

全国26地区186拠点

直営店(専門店)

全国128店舗

地域および店舗数

東京都29店、神奈川県36店、埼玉県21店、
千葉県20店、群馬県4店、栃木県5店、茨城県13店

工場

静岡相良工場

(静岡県榛原郡相良町女神21)

浜岡工場

(静岡県小笠郡浜岡町新野3406-4)

福島工場

(福島県福島市荒井字河原畑6-1)

研究所

中央研究所

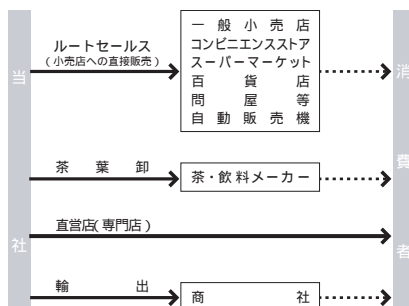
(静岡県榛原郡相良町女神21)

連結子会社の状況

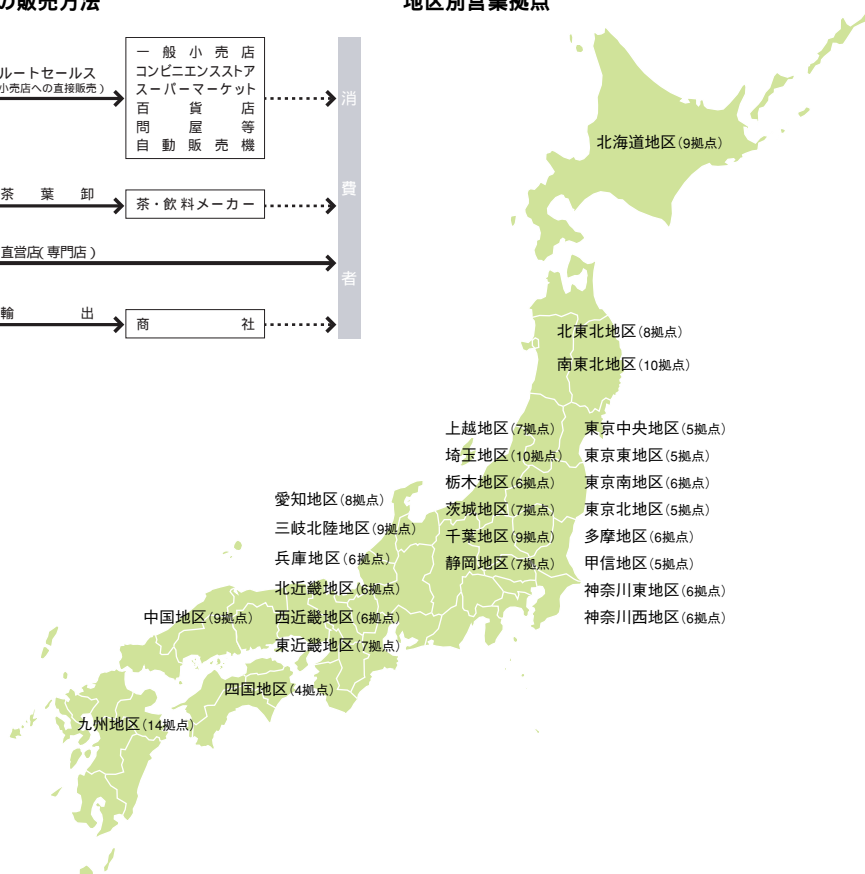
会社名	資本金	議決権比率	主要な事業内容
伊藤園産業株式会社	300百万円	100.0%	茶類製造販売、貨物運送取扱事業
株式会社沖縄伊藤園	10百万円	100.0%	飲料、茶葉販売
株式会社伊藤園関西茶業	10百万円	100.0%	緑茶、麦茶、進物用製品製造販売
ITO EN (North America) INC.	2,000万US\$	100.0%	飲料、茶葉製造販売、ティーストールの経営
ITOEN (USA) INC.	2,150万US\$	100.0%	飲料、食品製造販売
ITO EN AUSTRALIA PTY. LIMITED	1,050万A\$	100.0%	緑茶製造販売
KAI (North America) LLC.	70万US\$	100.0%	レストラン経営

KAI (North America) LLC. の議決権比率につきましては、間接所有割合であります。

当社の販売方法



地区別営業拠点



株式の状況

(平成15年10月31日現在)

会社が発行する株式の総数

80,000,000株

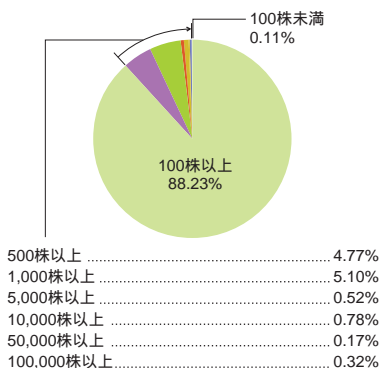
発行済株式の総数

45,606,190株

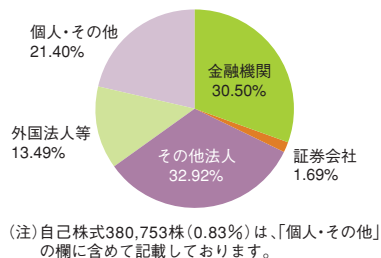
株主数

19,568名

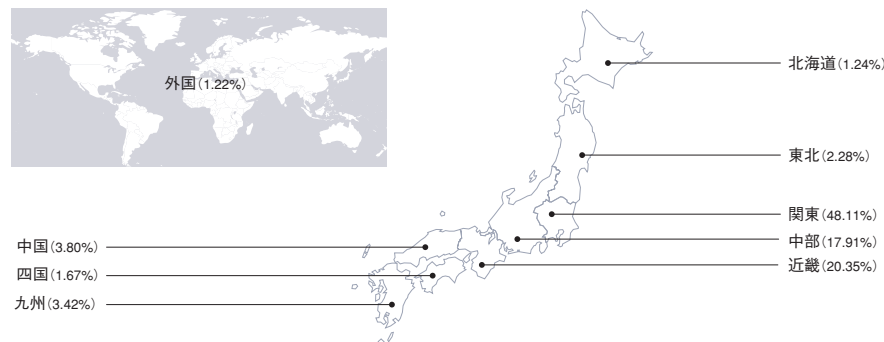
所有株式数別株主数比率



所有者別株式数比率



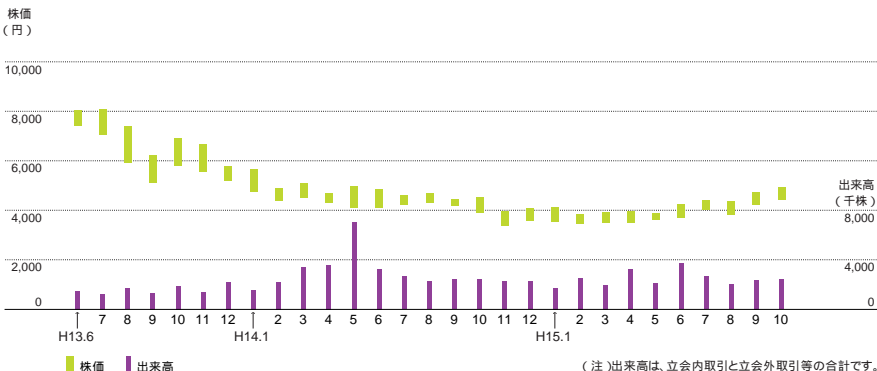
地域別株主数比率



大株主

株主名	持株数	持株比率
グリーンコア株式会社	10,086千株	22.11%
財団法人本庄国際奨学財団	2,600	5.70%
株式会社りそな銀行	2,260	4.95%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,213	4.85%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,772	3.88%
本庄八郎	1,471	3.22%
モルガン信託銀行株式会社(非課税口)	1,368	2.99%
野村證券株式会社	607	1.33%
伊藤園従業員持株会	585	1.28%
三菱信託銀行株式会社(信託口)	503	1.10%

株価推移



役員

(平成15年10月31日現在)

代表取締役社長 本庄八郎
代表取締役副社長 本庄大介
取締役副会長 小田順一
取締役副社長 荻田 築
取締役副社長 江島祥仁
取締役副社長 橋本俊治
専務取締役 下田 淨
専務取締役 伊藤 弘
専務取締役 渡辺 實
常務取締役 早坂 功

常務取締役 木村吉久
常務取締役 斎藤昭一
常務取締役 小林義雄
常務取締役 社 三雄
常務取締役 中村安隆
取締役 三國 薫
取締役 山崎英雄
取締役 川相貴由
取締役 廣瀬 昭

取締役 辻田忠治
取締役 田口 寛
取締役 本庄洋介
取締役 本庄周介
取締役 岡田 勉
常勤監査役 森 泰男
常勤監査役 宮崎晃一
監査役 高澤嘉昭
監査役 佐藤利宏

株主メモ

決算期 毎年4月30日(年1回)
配当金 利益配当金は、株主総会の決議により毎年4月30日の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主または登録質権者にお支払いします。また、中間配当を行う場合は、取締役会の決議により毎年10月31日の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主または登録質権者にお支払いします。
定時株主総会 毎年7月下旬
基準日 4月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。
名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 (郵便番号168-0063)
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話 03(3323)7111(代表)
同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公告掲載新聞 日本経済新聞
お問い合わせ先 株式会社 伊藤園 広報部 IR室 03-5371-7185

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

株主優待制度

1. 対象株主および優待内容

毎年4月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主のうち、

- ① 所有株式数100株以上1,000株未満の株主に対し、2,000円相当の自社製品を贈呈いたします。
- ② 所有株式数1,000株以上5,000株未満の株主に対し、3,000円相当の自社製品を贈呈いたします。
- ③ 所有株式数5,000株以上の株主に対し、5,000円相当の自社製品を贈呈いたします。

2. 贈呈予定時期

毎年1回7月下旬に贈呈いたします。



※上記の製品は本年度の株主優待で送付したものの(2,000円相当)であります。

自然を私に。自然のままに。



自然のままに。

だから、お〜いお茶は無香料・無調味。

自然をちゃんと引き出すこと。

自然に余分な手を加えないこと。

それがお茶の葉との約束です。

これが、
お茶。

無香料・無調味



空容器の散乱防止・リサイクルにご協力ください。

第十五回 伊藤園お〜いお茶 新俳句大賞募集中。詳しくは新俳句大賞事務局まで。

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4-7 TEL.03-3264-4050 <http://www.itoen.co.jp> 締め切り/平成16年2月29日(当日発信有効)

